

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 木村学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
教育・社会福祉専門課程	介護福祉学科	夜・通信	1,020 時間	160 時間	
	医療秘書福祉学科	夜・通信	690 時間	160 時間	
	保育社会福祉学科	夜・通信	675 時間	240 時間	
	診療情報管理士専攻科	夜・通信	570 時間	80 時間	
医療専門課程	臨床工学科	夜・通信	855 時間	240 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校 ホームページ http://hiroshima.trinity.ac.jp/koukai/syllabus.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 木村学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本校 ホームページ http://hiroshima.trinity.ac.jp/koukai.html

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	前) 大学医学部教授	令和3年 4月8日	医療職としての見識を活かした、客観的な立場からの学校経営への管理監督
非常勤	株式会社役員	令和3年 4月8日	企業経営者としての見識を活かした、客観的な立場からの学校経営への管理監督
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 木村学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>12月までに、本校の「カリキュラムポリシー」に基づき次年度の教育課程を編成し、各授業科目の担当教員を決定する。 決定した内容に従い、1月初旬に各担当教員に授業計画書の作成を依頼する。 本校の授業計画書に記載する事項については、本校の「授業計画(シラバス)作成ガイドライン」で定めており、記載内容は①履修方法・時間、②授業の目的・内容、③到達目標、④授業計画、⑤事前・事後内容の学習、⑥評価の方法・基準、⑦使用教科書 等である。 各担当教員に依頼した計画書の原稿は2月初旬に受け取り、3月中旬までに製本する。完成した授業計画書は、3月下旬に行われる講師会にて各講師に配布する。学生に対しては、4月初旬に行われるオリエンテーションにおいて配布し、その内容を周知している。 また、今年度より本校ホームページにおいても授業計画書を公表している。次年度以降は、毎年4月中旬に授業計画書を公表する予定である。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>本校ホームページ http://hiroshima.trinity.ac.jp/koukai/syllabus.html</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各授業科目において、授業計画書に記載された成績評価の方法・基準に従い適切な方法で評価している。複数の評価方法を使用する場合は、それらの配分割合(例:学期末テスト60%、小テスト20%、レポート20%)を明記するとともに、学生から評価の根拠を尋ねられた場合、きちんと回答できるよう、評価の基準を明確にしている。 また、学生に対しては試験を実施する1週間前までに改めて評価方法を説明し、学生がしっかりと評価方法を理解したうえで試験を行うようにしている。 具体的な評価基準については、学生便覧内の「授業にかかわる細則」に記している通り、A～Dの4段階評価とし、A～C評価の科目に対して履修認定をしている。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校では、客観的な指標としてG P Aを設定しており、その計算式は履修時間数にG Pを乗じた和をG P A対象科目(必修科目)の総履修時間数で除した方法である。 G Pの評価基準は、4段階評価で、配点はA(4)、B(3)、C(2)、D(0)を採用している。 また、G P Aの算出方法は本校ホームページで公表するとともに、その算出方法に従ってG P Aの算出を適切に行っている。</p> <p><G P Aの算定式> $G P A = (A \text{の履修時間} \times 4 + B \text{の履修時間} \times 3 + C \text{の履修時間} \times 2 + D \text{の履修時間} \times 0) \div (G P A \text{対象科目の総履修時間})$</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	本校ホームページ http://hiroshima.trinity.ac.jp/koukai.html
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校は、「愛と奉仕と思いやりの心を持ち、各専攻分野における専門的・実践的な知識・技術を有するとともに、その業界の発展に貢献できる人材」を育成することを目指している。 この目的を達成するため、各専攻分野における専門的・実践的な知識や技術を身に付けるための教育課程に加え、人を思いやる豊かな人間性やコミュニケーション能力・マナーなど職業人としてのスキルを向上させるための教育課程を編成している。 これらの課程を修了し、所定の修業年限以上在籍した者に対して卒業を認定し、卒業証書を授与する。また、本校設置課程のうち、修業年限が2年以上の学科を修了した者には、その課程の専門士の称号を授与する。 卒業判定は毎年3月初旬に全教職員による卒業判定会議で行われ、学校長が卒業の認定を行う。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	本校ホームページ http://hiroshima.trinity.ac.jp/koukai.html

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 木村学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本校 ホームページ http://hiroshima.trinity.ac.jp/koukai/hyouka.html
収支計算書又は損益計算書	本校 ホームページ http://hiroshima.trinity.ac.jp/koukai/hyouka.html
財産目録	本校 ホームページ http://hiroshima.trinity.ac.jp/koukai/hyouka.html
事業報告書	本校 ホームページ http://hiroshima.trinity.ac.jp/koukai/hyouka.html
監事による監査報告（書）	本校 ホームページ http://hiroshima.trinity.ac.jp/koukai/hyouka.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

<介護福祉学科>

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門課程	介護福祉学科	○	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2, 255 単位時間	870 単位時間	570 単位時間	815 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2, 255 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		82人	10人	5人	5人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>介護福祉士としての専門的な知識や技術を身に付けるための教育課程（社会福祉士介護福祉士養成施設指定規則に定めるもの）に加え、介護福祉士国家試験対策として総合演習Ⅱを開講している。</p> <p>また、人を思いやる豊かな人間性やコミュニケーション能力・マナーなど職業人としてのスキルを向上させるための授業科目（国語表現法、就職実務など）や、実践的な知識・技術を身に付けるために特別養護老人ホームや介護老人保健施設等と連携し、学外実習（介護実習）（470時間）を実施している。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）</p> <p>各授業科目において、授業計画書に記載された成績評価の方法・基準に従い適切な方法で評価している。複数の評価方法を使用する場合は、それらの配分割合（例：学</p>

期末テスト60%、小テスト20%、レポート20%)を明記するとともに、学生から評価の根拠を尋ねられた場合、きちんと回答できるよう、評価の基準を明確にしている。具体的な評価基準についてはA～Dの4段階評価とし、A～C評価の科目に対して履修認定をしている。

卒業・進級の認定基準

(概要)

介護福祉士としての専門的・実践的な知識や技術を身に付けるための教育課程に加え、人を思いやる豊かな人間性やコミュニケーション能力・マナーなど職業人としてのスキルを向上させるための教育課程を編成している。

これらの課程を修了し、2年以上の修業年限を在籍した者に対して卒業を認定し、専門士を授与するとともに、介護福祉士国家試験の受験資格を得ることができる。

学修支援等

(概要)

クラス担任による個人面談を実施し、一人一人の学生に対してきめ細かな指導を行っている。また、学業不振の学生に対しては、個別指導や面談を行うとともに、状況に応じて保護者と連携して指導するなど、サポート体制を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
39人 (100%)	0人 (0%)	34人 (87.2%)	5人 (12.8%)

(主な就職、業界等)

介護老人福祉施設、介護老人保健施設、自立支援施設（知的・身体）、居宅サービス関連事業（グループホーム等）

(就職指導内容)

2年次前期に就職活動に必要な知識の習得と就職試験対策を目的とした「就職実務」（30時間）を開講している。併せて、個人面談を通じて学生の仕事内容・勤務地等の希望を確認し、就職後のミスマッチが生じないように努めている。

(主な学修成果（資格・検定等）)

介護福祉士（国家試験受験資格）、赤十字ベーシックライフサポーター、日本語ワープロ検定、情報処理技能検定（表計算）、福祉住環境コーディネーター検定（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
85人	3人	3.5%

(中途退学の主な理由)

心身体調不良、進路変更、家庭の事情

(中退防止・中退者支援のための取組)

クラス担任が個人面談を繰り返し行い、生活習慣の見直しや勉強方法などを指導している。欠席時数が規定時数の1/5になると、保護者にはがきを郵送し、保護者と出席状況を共有し、連携して学生の指導に当たっている。

介護実習では、巡回の回数を増やし指導するとともに、実習指導者に学生の状況を説明し、協力・指導の依頼をしている。

<医療秘書福祉学科>

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門課程	医療秘書福祉学科	○	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1, 890 単位時間	660 単位時間	960 単位時間	270 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1, 890 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	33人	0人	2人	10人	12人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

医療事務職員・歯科助手としての専門的な知識や技術を身に付けるための教育課程に加え、人を思いやる豊かな人間性やコミュニケーション能力・マナーなど職業人としてのスキルを向上させるための教育課程（日本語表現、就職実務、手話など）を編成している。

また、実践的な知識・技術を身に付けるため、病院・クリニック・歯科医院と連携し、学外実習（病院実習・歯科実習）（計270時間）を実施している。

成績評価の基準・方法

（概要）

各授業科目において、授業計画書に記載された成績評価の方法・基準に従い適切な方法で評価している。複数の評価方法を使用する場合は、それらの配分割合（例：学期末テスト60%、小テスト20%、レポート20%）を明記するとともに、学生から評価の根拠を尋ねられた場合、きちんと回答できるように、評価の基準を明確にしている。具体的な評価基準についてはA～Dの4段階評価とし、A～C評価の科目に対して履修認定をしている。

卒業・進級の認定基準

（概要）

医療事務職員・歯科助手としての専門的・実践的な知識や技術を身に付けるための教育課程に加え、人を思いやる豊かな人間性やコミュニケーション能力・マナーなど職業人としてのスキルを向上させるための教育課程を編成している。

これらの課程を修了し、2年以上の修業年限を在籍した者に対して卒業を認定し、専門士を授与する。

学修支援等

（概要）

クラス担任による個人面談を実施し、一人一人の学生に対してきめ細かな指導を行っている。また、学業不振の学生に対しては、個別指導や面談を行うとともに、状況に応じて保護者と連携して指導するなど、サポート体制を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 (100%)	5人 (35.7%)	8人 (57.2%)	1人 (7.1%)
（主な就職、業界等） 病院、クリニック、歯科医院等、本校 診療情報管理士専攻科 進学			
（就職指導内容） 2年次に就職活動に必要な知識の習得と就職試験対策を目的とした「就職実務」（30時間）を開講している。併せて、個人面談を通じて学生の仕事内容・勤務地等の希望を確認し、就職後のミスマッチが生じないように努めている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 歯科助手、医療事務技能審査試験（医科・歯科）、 医療事務管理士技能認定試験（医科）、医師事務作業補助技能認定試験 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
32人	0人	0.0%
（中途退学の主な理由） なし		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任が個人面談を繰り返し行い、生活習慣の見直しや勉強方法などを指導している。欠席時数が規定時数の1/5になると、保護者にはがきを郵送し、保護者と出席状況を共有し、連携して学生の指導に当たっている。		

<保育社会福祉学科>

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門課程	保育社会福祉学科	○	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,700単位時間	675 単位時間	1,470 単位時間	510 単位時間	0 単位時間	45 単位時間
			2,700単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	61人	0人	3人	10人	13人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>保育士・幼稚園教諭としての専門的な知識や技術を身に付けるための教育課程（近畿大学九州短期大学通信教育部保育科併修）に加え、本校独自の教育課程として音楽・病児保育等を開講している。加えて、人を思いやる豊かな人間性やコミュニケーション能力・マナーなど職業人としてのスキルを向上させるための教育課程（ボランティア活動、基礎マナー講座等）を編成している。</p> <p>また、実践的な知識・技術を身に付けるため、保育所・幼稚園・児童福祉施設と連携し、学外実習（保育実習・教育実習）（計450時間）を実施している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>各授業科目において、授業計画書に記載された成績評価の方法・基準に従い適切な方法で評価している。複数の評価方法を使用する場合は、それらの配分割合（例：学期末テスト60%、小テスト20%、レポート20%）を明記するとともに、学生から評価の根拠を尋ねられた場合、きちんと回答できるよう、評価の基準を明確にしている。具体的な評価基準についてはA～Dの4段階評価とし、A～C評価の科目に対して履修認定をしている。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>保育士・幼稚園教諭としての専門的・実践的な知識や技術を身に付けるための教育課程に加え、人を思いやる豊かな人間性やコミュニケーション能力・マナーなど職業人としてのスキルを向上させるための教育課程を編成している。</p> <p>これらの課程を修了し、3年以上の修業年限を在籍した者に対して卒業を認定し、専門士を授与するとともに、保育士・幼稚園教諭・社会福祉主事の資格を得ることができる。また、近畿大学九州短期大学通信教育部保育科併修により短期大学士を授与する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>クラス担任による個人面談を実施し、一人一人の学生に対してきめ細かな指導を行っている。また、学業不振の学生に対しては、個別指導や面談を行うとともに、状況に応じて保護者と連携して指導するなど、サポート体制を整えている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
27人 (100%)	0人 (0%)	27人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 保育園、幼稚園、こども園、障がい児施設、高齢者施設 等			
（就職指導内容） 3年次に就職活動に必要な知識の習得と就職試験対策を目的とした「就職実務」（30時間）を開講している。併せて、個人面談を通じて学生の仕事内容・勤務地等の希望を確認し、就職後のミスマッチが生じないように努めている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 保育士、幼稚園教諭2種、社会福祉主事 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
72人	1人	1.4%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任が個人面談を繰り返し行い、生活習慣の見直しや勉強方法などを指導している。欠席時数が規定時数の1/5になると、保護者にはがきを郵送し、保護者と出席状況を共有し、連携して学生の指導に当たっている。		

<診療情報管理士専攻科>

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門課程	診療情報管理士専攻科	—	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	885単位時間	360 単位時間	480 単位時間	45 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			885単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		5人	0人	1人	6人	7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）</p> <p>診療情報管理士としての専門的な知識や技術を身に付けるための教育課程に加え、診療情報管理士資格取得のための対策講座として総合演習を開講している。</p> <p>また、人を思いやる豊かな人間性やコミュニケーション能力・マナーなど職業人としてのスキルを向上させるための授業科目（就職実務）や、実践的な知識・技術を身に付けるために病院と連携し、学外実習（病院実習）（計45時間）を実施している。</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要）</p> <p>各授業科目において、授業計画書に記載された成績評価の方法・基準に従い適切な方法で評価している。複数の評価方法を使用する場合は、それらの配分割合（例：学期末テスト60%、小テスト20%、レポート20%）を明記するとともに、学生から評価の根拠を尋ねられた場合、きちんと回答できるよう、評価の基準を明確にしている。具体的な評価基準についてはA～Dの4段階評価とし、A～C評価の科目に対して履修認定をしている。</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）</p> <p>診療情報管理士としての専門的・実践的な知識や技術を身に付けるための教育課程に加え、人を思いやる豊かな人間性やコミュニケーション能力・マナーなど職業人としてのスキルを向上させるための教育課程を編成している。</p> <p>これらの課程を修了し、1年以上の修業年限を在籍した者に対して修了を認定し、修了証書を授与する。</p>	
学修支援等	
<p>（概要）</p> <p>クラス担任による個人面談を実施し、一人一人の学生に対してきめ細かな指導を行っている。また、学業不振の学生に対しては、個別指導や面談を行うとともに、状況に応じて保護者と連携して指導するなど、サポート体制を整えている。</p>	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	0人 (0%)	7人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 病院			
（就職指導内容） 就職活動に必要な知識の習得と就職試験対策を目的とした「就職実務」（30時間）を開講している。併せて、個人面談を通じて学生の仕事内容・勤務地等の希望を確認し、就職後のミスマッチが生じないように努めている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 診療情報管理士（認定試験受験資格）、診療報酬請求事務能力認定試験（医科）等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7人	0人	0.0%
（中途退学の主な理由） なし		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任が個人面談を繰り返し行い、生活習慣の見直しや勉強方法などを指導している。欠席時数が規定時数の1/5になると、保護者にはがきを郵送し、保護者と出席状況を共有し、連携して学生の指導に当たっている。		

<臨床工学科>

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	臨床工学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3, 135 単位時間	2, 145 単位時間	360 単位時間	630 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			3, 135 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	54人	0人	6人	6人	12人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>臨床工学技士としての専門的な知識や技術を身に付けるための教育課程（臨床工学技士養成所指定規則に定めるもの）に加え、臨床工学技士国家試験対策として医用工学演習Ⅰ・Ⅱを開講している。</p> <p>また、人を思いやる豊かな人間性やコミュニケーション能力・マナーなど職業人としてのスキルを向上させるための授業科目（人間関係学、就職実務など）や、実践的な知識・技術を身に付けるために病院と連携し、学外実習（臨床実習）（180時間）を実施している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>各授業科目において、授業計画書に記載された成績評価の方法・基準に従い適切な方法で評価している。複数の評価方法を使用する場合は、それらの配分割合（例：学期末テスト60%、小テスト20%、レポート20%）を明記するとともに、学生から評価の根拠を尋ねられた場合、きちんと回答できるよう、評価の基準を明確にしている。具体的な評価基準についてはA～Dの4段階評価とし、A～C評価の科目に対して履修認定をしている。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>臨床工学技士としての専門的・実践的な知識や技術を身に付けるための教育課程に加え、人を思いやる豊かな人間性やコミュニケーション能力・マナーなど職業人としてのスキルを向上させるための教育課程を編成している。</p> <p>これらの課程を修了し、3年以上の修業年限を在籍した者に対して卒業を認定し、臨床工学技士国家試験の受験資格を得ることができる。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>クラス担任による個人面談を実施し、一人一人の学生に対してきめ細かな指導を行っている。また、学業不振の学生に対しては、個別指導や面談を行うとともに、状況に応じて保護者と連携して指導するなど、サポート体制を整えている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18人 (100%)	0人 (%)	13人 (72.2%)	5人 (27.8%)
（主な就職、業界等） 病院、クリニック			
（就職指導内容） 3年次前期に就職活動に必要な知識の習得と就職試験対策を目的とした「一般教養」（30時間）を開講している。併せて、個人面談を通じて学生の仕事内容・勤務地等の希望を確認し、就職後のミスマッチが生じないように努めている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 臨床工学技士（国家試験受験資格）、第2種メディカルエンジニアリング技術実力検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
67人	9人	13.4%
（中途退学の主な理由） 学業不振、進路変更、学校生活不適應		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任が個人面談を繰り返し行い、生活習慣の見直しや勉強方法などを指導している。欠席時数が規定時数の1/5になると、保護者にはがきを郵送し、保護者と出席状況を共有し、連携して学生の指導に当たっている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
介護福祉学科	200,000 円	800,000 円	300,000 円	
医療秘書福祉学科	200,000 円	760,000 円	300,000 円	
保育社会福祉学科	200,000 円	760,000 円	240,000 円	大学併修費が 610,000 円必要
診療情報管理士 専攻科	100,000 円	600,000 円	80,000 円	
臨床工学科	200,000 円	1,130,000 円	370,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				
学園独自の奨学金制度：無利息、月額 35,000 円、卒業後 10 年以内で返済 AO 特待生制度 特待生 A：1 年次授業料半額免除、特待生 B：入学金全額免除、 特待生 C：入学金半額免除				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
本校 ホームページ http://hiroshima.trinity.ac.jp/koukai/hyouka.html		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
文部科学大臣の定めるところにより、本校の教育活動その他の学校運営の状況について自己評価を行い、その結果を踏まえて学校関係者評価を実施する。評価委員会は、設置学科に係わる企業等の委員並びに高等学校関係、卒業生の委員等をもって構成し、評価活動の一環として学校長など教職員との意見交換を行う。学校関係者評価の結果を取りまとめるにあたって、評価結果及びその分析に加えて、それらを踏まえた今後の改善方策についても併せて検討する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
現) 学校法人 理事長	令和元年 8 月 3 1 日	企業等委員
現) 病院 理事長	令和元年 8 月 3 1 日	企業等委員
現) 介護老人福祉施設 施設長	令和元年 8 月 3 1 日	企業等委員
元) 高等学校 校長	令和元年 8 月 3 1 日	高等学校代表
前) 本校同窓会 会長	令和元年 8 月 3 1 日	卒業生代表
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
本校 ホームページ http://hiroshima.trinity.ac.jp/koukai/hyouka.html		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		



c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

本校 ホームページ <http://hiroshima.trinity.ac.jp>